4　熊本県環境基本指針・環境基本計画概念図

様々な公害の発生、自然の破壊により私たちの生存が脅かされているという状況

【3つの理念】
①循環型社会の構築
②環境との共生
③環境資源の適正管理

水俣病の教訓
環境破壊を未然に防ぐという観点

次世代に快適な環境を引き継ぐ

将来を展望し、今、行動する

地球的な規模で考え、足元から行動する

【5つの基本的視点】

パートナーシップのもとで連帯する

環境と共生し、社会の持続的発展をめざす

熊本県の環境の現状
自動車の増加に伴う二酸化炭素・二酸化窒素排出量の増加、地下水位の低下、生活排水等による水質汚濁、一般廃棄物排出量の増加、産業廃棄物の不法投棄等の問題がある

基本指針

方向

基本計画

具体的な内容

施策の展開

循環を基調とする環境調和型社会の実現	熊本の特性を生かす自然と共生した環境づくり	学び参加する足元からの環境保全行動	環境配慮に向けた制度とネットワークの展開
1 地球環境の保全 2 大気質の保全 3 水環境の保全 4 廃棄物の適正処理及び資源利用 5 新たな環境問題等への対応	1 森林、水辺等の自然環境の保全 2 野生動植物の保護管理 3 騒音、振動、悪臭等に関する対策 4 土壌汚染の防止及び地盤沈下対策 5 緑と水のある生活空間の保全 6 良好な景観の保全・形成 7 文化財の保護	1 環境教育・環境学習の推進 2 環境保全行動の推進	1 開発における環境配慮 2 環境情報・研究のネットワーク化
1 地球環境問題への対応 ①地球温暖化対策 ②オゾン層の保護対策 ③酸性雨対策 2 大気質に係る対策 ①地域の大気環境の保全策 ②熊本都市圏自動車交通クリーン計画等の計画的な推進 3 水環境に係る対策 ①健全な水循環の確保 ②地下水の質・量の保全策 ③きれいな川と海づくり 4 廃棄物の適正処理及び資源利用に係る対策 ①ごみの減量化 ②リサイクルの推進 ③廃棄物の適正処理 5 新たな環境問題への対応 ①ダイオキシン類対策 ②環境ホルモン対策 ③新たな化学物質問題等への対応	1 森林・水辺等の自然環境の保全 ①自然保護のための総合的な対策 ②すぐれた自然の保護 ③自然とのふれあいの体験の促進 ④森林、農地、水域等における自然環境の保全・創造 2 野生動植物の保護管理 3 騒音、震動、悪臭等に関する対策 4 土壌汚染と地盤沈下の調査・監視 5 緑と水のある生活空間の保全・創造 6 良好な景観の保全・形成 7 文化財の保護	1 環境教育・環境学習の推進 ①家庭、地域社会、職場等における環境学習の推進 ②学校における環境学習の推進 ③環境学習の指導者の育成 2 環境保全行動の推進 ①県民の環境保全行動への支援 ②事業者の環境保全行動への支援 ③行政における率先的な環境保全行動の展開 ④県民、事業者、行政が一体となった環境保全活動の推進	1 開発における環境配慮 ①環境アセスメント制度の充実 ②県実施の公共事業等における環境配慮システムの拡充 ③市町村実施の公共事業における環境配慮の仕組みの導入の促進 ④民間の開発事業における環境配慮の取組みの促進 2 環境情報・研究のネットワーク化 ①環境情報・研究のネットワークシステムの構築 ②産・学・行政の連携による環境研究・技術開発と環境産業の振興 ③国際協力の推進

地域計画
【熊本、宇城、荒尾・玉名、山鹿・鹿本、菊池、阿蘇、上益城、八代、水俣・芦北、人吉・球磨、天草】
地域の環境特性に応じた地域ごとの取組みの方向及び重点的に取り組む施策

快適な環境の保全・創造

環境立県くまもと
県民、事業者及び行政があらゆる活動を展開するに当たって、環境への配慮を当たり前のこととして行う循環と共生を基調とする社会